

山間高冷地の湛水直播栽培における 全量基肥施肥法

福島県農業試験場 冷害試験地

平成14年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稲－水稲－施肥法－水稲直播

分類コード 01－01－13750000

2 担当者

矢島 豊・小森秀雄

3 要旨

山間高冷地の湛水直播栽培における省力的な基肥窒素の施肥方法を、速効性肥料と肥効調節型肥料、全層施肥法と側条施肥法の2段階で検討した。

- (1) 速効性肥料を用いた場合、基肥窒素 $0.8\text{kg/a} \times$ 全層施肥法の組み合わせにより、品質を維持しながら慣行施肥(基肥 $0.6\text{kg/a} +$ 幼穂形成期追肥 0.2kg/a)とほぼ同等の収量が得られた。
- (2) 肥効調節型肥料を用いた場合、基肥窒素 0.6kg/a (LP70) $\times$ 側条施肥法の組み合わせにより、品質を維持しながら慣行施肥を上回る収量が得られた。収量性では全層施肥法が有利であるが、倒伏危険性の増大および玄米蛋白質含有率の増加を考慮すると側条施肥法がより望ましい。
- (3) 速効性肥料を用いた場合、高温年次に限り生育後期に肥切れし易いため、生育診断により必要に応じて追肥を行う。

以上のことから、速効性肥料では基肥窒素 $0.8\text{kg/a} \times$ 全層施肥法、緩効性肥料では基肥窒素 0.6kg/a (LP70) $\times$ 側条施肥法の組み合わせが好適である。ただし、本知見は「まいひめ」を用いた試験結果に基づくため、他品種に適用する場合は施肥量に関してのみ微調整が必要である。

4 その他の資料等

なし